



上…鯉川小「キラキラ1年生」
右…青生野小「全校合唱」



学習の成果を披露 2つの小学校で学習発表会

鯉川小の学習発表会「さめっ子フェスティバル」、青生野小の学習発表会は10月27日、各小学校の体育館で行われ、子どもたちが日ごろの学習の成果を披露しました。

鯉川小では、合唱部の発表や身振り手振りを交えた詩の朗読、よさこい踊り、創作劇など学年ごとに趣向を凝らした演技を披露。また、青生野小では、狂言や音楽劇、青生野太鼓の演奏、会場が一つになっての合唱などを元気に発表し、会場に詰めかけた家族らから、大きな拍手が送られていました。

村の誇りを胸にタスキをつなぐ 第24回ふくしま駅伝



昨年以上の走りを見せた鯉川村チーム

第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月18日、白河総合運動公園から福島県庁までの96.5kmのコースで行われました。各選手が懸命にタスキをつなぎ、昨年を上回る総合27位（村の部6位）となり、3年連続で敢闘賞を獲得しました。

思いを言葉と歌にのせて 少年主張大会・音楽発表会



堂々と意見を発表した主張大会

第17回少年主張大会、第11回音楽発表会は11月3日、村公民館で行われました。主張大会では、小・中学生、高校生が日ごろ考えていることや訴えたいことを堂々と発表。音楽発表会では、小・中学生とコーラスグループが美しい歌声を披露しました。

自分の命、他人の命を大切に 村内の小学校で「いのちの教育授業」



胎児の模型を使って成長過程を体験

生きていることの尊さなどを学ぶ「いのちの教育授業」は11月、村内2つの小学校で行われました。授業では、胎児の成長や生まれる過程を学び、実際に模型を使って体験。生命誕生の尊さを理解し、自分の命や他人の命を大切に思う心を養いました。

西山Aが熱戦制す 第6回村長杯争奪ゲートボール大会



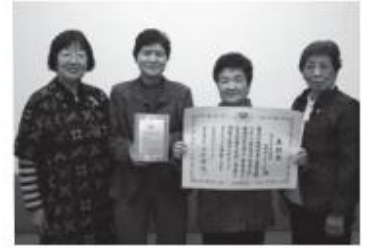
熱戦を制した西山A

村ゲートボール協会主催の「第6回鯉川村長杯争奪ゲートボール大会」は10月12日、さざり荘ゲートボール場で行われました。大会には、7地区の老人クラブから13チームが出場。白熱した試合が繰り広げられた結果、西山Aが初優勝を果たしました。

栄えある受賞

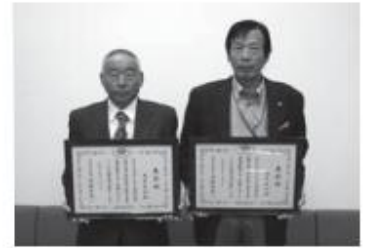
村食生活改善推進員「ひまわりの会」が 「厚生労働大臣表彰」を受賞

食生活改善による住民の健康増進のための積極的な活動が認められ、村食生活改善推進員「ひまわりの会」（矢吹さつき会長）が栄養関係功労団体として厚生労働大臣表彰を受賞しました。



高木正則さん、芳賀元治さんが 「環境省自然環境局長表彰」を受賞

自然歩道の維持管理、普及啓発活動に尽力した功績が認められ、高木正則さん（新宿・写真右）、芳賀元治さん（江竜田・写真左）が自然歩道関係功労者として環境省自然環境局長表彰を受賞しました。



ふくしまキッズ実行委員会が 「オーライ！ニッポン審査委員会賞」を受賞

都市と農山漁村の交流を盛んにする活動に積極的に取り組んでいる団体として、ふくしまキッズ実行委員会（進士徹実行委員長）が「オーライ！ニッポン審査委員会賞」を受賞しました。



村政TOPICS

「走行中の車両からタバコが投げ捨てられ出火。山林に延焼拡大し、近隣の民家に火勢が迫っている」との想定で、棚倉消防署鯉川分署と村消防団により、通報から出動、放水などの消火訓練が繰り広げられました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。

また、訓練終了後には棚倉消防署鯉川分署員の指導で、地元住民を対象とした「消火器を使った消火訓練」を実施。火災発生時の初期消火の重要性を再確認しました。



放水訓練を行う消防団員

消防 万が一に備えて 火災防衛訓練を実施

秋季全国火災予防運動期間中の十一月十一日、火災防衛訓練が富田字中沢地内の中沢公民館付近で行われました。

十二月四日から十日までの七日間は「人権週間」です。今年で六十四回を数える人権週間では、「みんなて築こう人権の世紀」をテーマとして「思いやりの心」を啓発活動の重点目標として実施されます。

十一月三日、人権週間に先立ち、村人権擁護委員の皆さんが人権思想の普及と意識の高揚を図るため啓発活動を行いました。

●特設相談所を開設します
十二月六日午前十時から午後三時まで、村公民館に特設相談所を開設します。相談は無料で、秘密は固く守られます。人権に関する困りごとや悩みごとなどがありましたら、気軽にご相談ください。



啓発活動を行う人権擁護委員

人権 12月4日～10日は 「人権週間」です

村政TOPICS